



ホームページ▶

ふるさと上越 🔍

# ふるさと上越ネットワークたより

編集・発行 ふるさと上越ネットワーク事務局

〒101-0064 東京都千代田区神田猿樂町2-1-2

TEL.03-5244-5138 FAX.03-3294-6106

●本庁担当

上越市 総合政策部 総合政策課 ふるさと応援室

〒943-8601 新潟県上越市木田1-1-3

TEL.025-520-5625



遠望米山・冬 撮影：宮崎俊英さん

## 「たより」No.311 目次

会員数と「ふるさと市場」販売報告 .....	1	俳句ひろば .....	6
Jネットの活動とお知らせ .....	2	JネットHPのご案内 .....	6
上越の行事 .....	3	上越タイムス・上越ケーブルビジョン	
◇ 2026年レレヒ祭 .....		(アクセス方法のご案内) .....	7
上越のカフェ .....	3	上越市からのお知らせ .....	7
◇ Hello MAIDO (ハローまいど) 大町5丁目 .....		上越産品販売のお知らせ .....	7
会員ひろば .....	4	上越語り BAR 開催 IN 丸の内北口 wework .....	8
◇ 花の不思議 .....	佐藤光子	谷浜コーヒー通信 .....	8
◇ 続編『越の霊場岩殿山(明静院)保存会』活動の喜び!! .....		Jネットからのお知らせとお願い .....	8
飯野ケイ .....			

## 会員数と「ふるさと市場」販売報告

(1) 会員は526名(令和7年12月20日現在)

(2) ふるさと市場の販売取次状況 令和7年11月 49点 213,901円 ※前年同月 182点 400,693円

### ◆ 12月11日(木)湯島にてサロン開催

今年最後のふるさと上越ネットワークサロンに参加しました。総勢30名が集まり、季節限定酒などもテーブルに並ぶ、年の瀬らしい和気あいあいとした懇親の場となりました。

この会に参加するたびに感じるのは、上越を想う皆さまの心の温かさ。そして本当に、皆さん日本酒がお好きですね。今回は佐渡の「金鶴」を名刺代わりに持参しましたが、上越の不動産情報よりもお酒の話の方が詳しいせいか、「酒屋の回し者ですか？」と笑われる一幕も。それも含めて、上越らしい温かな時間だったと感じています。

上越と東京を行き来する“旅する不動産屋”として、地域の今を知り、人とつながるこの会合は私にとって大切な場です。来年も引き続き参加予定ですので、ぜひ一緒に上越の酒を酌み交わしましょう。

(稲場晃美 記)

差し入れは、石田さんから越後美人、高橋稔さんから長岡の重吉、稲場さんから佐渡の金鶴、榎野さんから深雪花、会長から岩（岩の原）、片田さんから吉池オンディーヌの特製パン、有り難うございました。

(事務局 記)



作：稲場晃美さん

【次回以降のサロン】 毎月第2木曜日開催 17:30～19:00（予約不要・途中からのご参加もOKです。）

**1月は、30分繰り上げ、新年会を兼ねて大ホールで開催します。 参加費1,500円**

◆ R8.1月8日(木)(新年会) 17:00～19:00 ◆ R8.2月12日(木)(新年会) 17:30～19:00 参加費1,500円

会場：東京新潟県人会館「ふれあいふるさと館」 〒110-0005 東京都台東区上野1-13-6 TEL：03-3832-7619

### ◆ 第21回 Jネット近畿地区サロン開催報告

12月6日(土)、大阪梅田ガーデンシティクラブにて近畿地区サロンが開催されました。

上越市役所からは大谷健一郎ふるさと応援室長がご出席され、東京からは私祖父江が出席いたしました。総勢7名でしたが、少数気鋭！楽しく賑やかな会となりました。2次会は近くのたこ焼き屋さんへ。本場大阪の美味しいたこ焼きをつまみながら、さらに和気あいあい、話が弾みました。

野口さまと村田さまは、今年の春の交流会に初参加されましたが、来年(4月5日、6日開催)もまた楽しみにされているようです。他の方々も是非！満開の桜の下、またお会いできますこと楽しみにしております。

(祖父江ひろみ 記)



【第22回近畿地区サロンは、令和8年12月5日(土)正午より開催します。】



## ◆ 第61回 Jネット勉強会報告 横浜市歴史博物館の見学

今回は横浜市歴史博物館の見学です。博物館には原始時代から近現代までのそれぞれの展示物があり、屋外には国史跡に指定された遺跡（大塚・歳勝土遺跡）があります。詳細は同封のチラシをご覧ください。尚、見学後に懇親会も予定していますので、皆さま是非ご参加下さい。

1. 日時と集合時間 令和8年1月14日（水） 集合時間12時30分
2. 集合場所 市営地下鉄センター北駅3階改札口付近
3. 入館料 400円（博物館までは駅を出て徒歩5分）

参加希望者は懇親会の出欠も含めてJネット事務局までご連絡下さい。

事務局 電話03-5244-5138 メール：k.miyazato@araip.co.jp



## 上越の行事

### ◆ 2026年レルヒ祭 2026. 2.7（土）12：00～19：30 2.8（日） 9：30～19：30 （あかりのパレード たいまつ滑走参加者募集中！）

2026年2月7日、8日レルヒ祭が開催されます。「レルヒ祭」は、レルヒ少佐の偉大な功績を後世に伝承していくために開催される冬の大イベントです。

7日の「あかりのパレード」では、たいまつ滑走参加者を募集しています。

お申込先 レルヒ祭実行委員会事務局 FAX：025-545-1113 MAIL：jtca@joetsu.ne.jp

レルヒ祭 会場：金谷山スキー場、高田本町商店街ほか

## 上越のカフェ

### ◆ 「Hello MAIDO（ハローまいど）」 2025年12月20日、グランドオープン！

オーナーの滝本なつきさんは、物件を内見して散策したときに初めて高田北エリアの魅力を知りました。雁木のレトロな街並み、大切に住んでいる方々と、空き家になってしまった場所をリノベーションした新しい店舗がチラホラ見かけられるという新しい動きに魅力を感じ、築60年の古民家を購入し、ポップな内装にリフォームしました。上越市や高田の雁木の町並みを、県内外、海外にもアピールしてまちづくりをしたいと思っています。店内はとても明るく楽しい雰囲気です。クレープを食べながらの街歩きもおすすめです。

上越地域の米粉や材料を使った「パリ、サク、モチ」の新食感クレープを提供しています。甘いデザート系（シュガー、チョコレート、シナモンなど）と、食事系（ツナマヨ、ペッパーチーズ、生ハムなど）があります。コーヒー、クラフトビールなど、ドリンクの提供もあります。

プレオープンで何度か行き、美味しくいただきました。（小坂恵美 記）

#### 滝本さんからのメッセージ：

「地元上越市に何か貢献したいとかねてよりずっと考えていました。このような形で街に関わることになるのは最初から想定していたわけではなかったのですが、地域の皆さんの温かさに助けられて、より貢献したいという強い気持ちに変わりました。

町の活性化に一石を投じられれば幸いです。」



「Hello MAIDO（ハローまいど）」 上越市大町5-3-11

駐車場はなし。不定休。

営業時間など詳しくはInstagramで。@hello\_maido



◆ 花の不思議

佐藤光子

その一

夫の死去は三年前の令和五年六月だった。

何気なく庭に目をやると、四月なのに、幾種類かある紫陽花が、塀を背に丈を揃えて一斉に濃紫の色で咲いていた。見事な大きさの毬だ。私はその見事さに不吉なものを感じた。指さして夫にそう言った。九十三歳の夫は読んでいる本から顔をあげて庭に目をやり「そうだなあ」と言ったが、又本に目を落とした。息子達もまったく気にしていなかった。

だが五月に夫は高熱を出し、病院へ行った。検査の結果、胃と腸、前立腺も末期癌だと宣告されて、在宅医療となった。夫は便秘気味だったが、他に痛みを自覚していなかったのも、本人も家族も全く信じられなかった。

在宅看護師さんは「見事な濃紫陽花。お父さん頑張れと、応援しているのですね」と言った。丁度一か月在宅医療を受け、私の腕の中で安らかに逝った。癌なのにこんな風に死ねるのかと驚いた。

そして、なんと紫陽花はその翌年には、元の不揃いな紫陽花に戻って咲いたのだ。

誰が、何がそのタクトを振ったのだろうか？

私の高田の実家は農家で、父母は年中働きづめだった。老後は暖かい東京でのんびりしてほしいという私の願いが叶い、七十過ぎに両親は上京し、同居した。間もなく父は食道癌に罹り、家族に見守られて死去した。

母は先祖を敬い、信心深かった。菩提寺の善導寺は、梵鐘を戦時中供出して無いままなのを嘆き、全財産を投じて梵鐘を献納した。

私は夫も息子たちも母を大事にしてくれるのが嬉しく、家族に感謝していた。

母も「私が西の国へ行ったら、必ず佐藤の家を守るからね」が口癖だった。

平成七年の夏は暑かった。母は「食欲がなく、ふらつくから竹口医院で点滴をしてもらうよ」と言った。「汗臭いと先生に失礼だから、風呂へ入ってから行く」と、私が手伝おうとすると断り、髪もしっかり洗った。すべて着替えて、私の運転で病院へ向かった。それまで懸命に頑張って支度をしたのだろう、車から降りるのにも力が尽きてしまっていて、担架で病室へ運び込まれた。母は九十二歳だ。

が、頭はしっかりしていた。京都の二男の家族が三歳のひこ孫を連れて見舞いに来た時も、笑い声をあげて話をしていた。十日目を過ぎる頃から見舞いの人の顔が分からなくなり、誰に対しても両手を合わせて感謝の言葉で応じていた。十五日目に、居合わせた夫に手を握られて逝ってしまった。人は生きてきたように死ぬと言われているようだが、あまりにあっけなく、見事な最期だった。

私は、夫が亡くなってから、毎朝夫がしていた仏壇への諸事を継いでしていた。

ある日何気なく、仏壇に並ぶ御位牌の戒名に眼が止まり、ハッとした。母は千歳という名前なので、戒名に一字文字が入って「千紫院一大姉」だ。あのひしめき合うように多くの濃紫の紫陽花は母の祈りを意味していて、母は夫の三か所の癌からの痛みを守ってくれていた。そう確信した。

私はこの世は、死者は生者を応援している、「死後生」を信じている。生者と死者の交信は何を介しているか知らないが、もしかしたら、花が一つの交信手段なのかも、と思った。

その二

私は「岳」という俳句の結社に入っている。

俳誌の編集長は、朝日新聞俳壇の選者、小林貴子さんだ。今年の九月号の編集後記に、こうあった。「一夏水仙は私にとって不可思議な花だ。高校生の頃、悪夢を見た。ついに原水爆が投下されたと知り、窓の外を見ると、すべての事物が西から東へ向って飛ばされてゆく。その風景の中、夏水仙だけが爆風に吹かれながらも根を張って耐えているのだった。そのころ私はその花の名を知らなかった。俳人になり、季語としてその名を知った時、改めて悪夢が蘇った。名前も知らない草花がなぜ悪夢の中に登場したのか分からない。本当の投下であれば、夏水仙どころか、窓の外を見る刹那さえないのは理解している。そう思いつつ反芻しては、八月という月は私の中で年々重いものになり続けてゆく」これを読んだ時、悪



い予兆と言いきれないのではないかと思います。貴子さんは十年程前、重い眼の病に罹られ、二十四時間、顔を伏せた姿勢を強いられる辛い日々を過ごされた。爆風の中の夏水仙の様に、病に打ち勝つ強さがあって、快癒され、今日の活躍となった。

私は後記を読んで「それは悪夢ではなく、行く手への励ましです」と手紙を書いた。

後で知ったが、母上が八月十三日に九十五歳で旅立たれた。

\*本閉づるやうな最期や夏水仙 貴子

と、十一月号に詠まれていた。悲しみの中とは言え、母上は大往生されたのだ。夏水仙は母上を浄土に送る道標の様な役割で、貴子さんにとって悪夢の花ではなくなったはずだ。



## ◆ 続編 『越の霊場岩殿山(明静院)保存会』活動の喜び！！

飯野ケイ

1回目は、岩殿山明静院・『大日如来坐像』（国指定重要文化財）中心のお話でしたが、2回目は、神話の時代にさかのぼり「いわれ」のお話から～素晴らしい繋がりへ～と。

ここ岩殿山の岩屋で大国主命と奴奈川姫が結婚生活され建御名方命（のちの諏訪の大神）がお生まれになり、やがて成人して信州諏訪へ向かわれます。その屋根のようにせり出た岩屋内に神社が祀られていましたが、宝暦元年4月25日の大地震で岩屋が欠け落ち社殿も埋没してしまいました。その後、その横に移築されたのが今の小さな諏訪神社です。

昨年、令和6年10月4日10時、諏訪大社（諏訪市）の宮司北島様・権禰宜杉浦様・松嶋様のお三方が初めて諏訪神社にお越し下さいました。その折、春日山神社宮司風間様より、岩殿山に響き渡る清々しい祝詞をあげて頂きました。そして、諏訪大社宮司北島様の『ここが元ですからね！もっと早くに来るべきでした！』のお言葉に、その場に立ち合わせて頂いた私は感動で鳥肌が立ちました。そして、北島様と権禰宜お二方、宮司風間様の昼食の席に、私までお招きいただき「まるで別世界」の宮司様方の会話に興味津々聞き入りました。北島様に、私は夢中で保存会立ち上げの意図と、図々しくもお願いごとのお話をさせていただきました。

1) 令和7年春の保存会主催の講演会の講師をお願いできませんか？

2) 保存会は、多くの皆様に観光の為の看板新設や修繕費の資金の為、ご寄付のお願い活動をしています、お願いできませんでしょうか？等々。宮司北島様は、会話の中で私にヒントを下さいました。その後、諏訪大社様へ要望書・見積書・思いのお手紙を差し上げ、権禰宜杉浦様とのメールのやり取りにて益々縁を深く感じる事となりました。そして、12月25日にご寄付を頂戴いたしました！感謝の思いで一杯です。～次回は、保存会諏訪大社様へ御礼の旅です！



向って左側から（敬称略）  
諏訪大社 / 権禰宜杉浦建 権禰宜松嶋悟  
春日山神社 / 宮司風間常樹彦 諏訪大社 / 宮司北島和孝  
明静院 / 住職長谷川英明 飯野ケイ



岩殿山・諏訪神社

※令和7年1月25日発行（たよりNo.303）に「1回目」の記事が掲載されています。

また、岩殿山関連の記事として、

- ・令和5年8月25日発行・たより(NO.290) 岩殿山の魅力について（その1）
- ・令和5年10月10日発行・たより(NO.291) 岩殿山の魅力について（その2）

岩殿山明静院 住職 長谷川英明 さんの記事が掲載されています。

（事務局）

蔵元の友の年賀の越後味噌  
 朝刊を読み比べをり去年今年  
 墨文字の再会願ふ年賀状  
 正月着互ひに褒める姉妹かな  
 リュックから伸びる破魔矢の鈴の音  
 二日また元日会ひし子らの来る  
 買初の上着に似合ふ顔つくる  
 宇賀田洋巳

## Jネット ホームページ

### ◆ ふるさと上越ネットワークのホームページをご覧ください

「たより」を全ページカラーでご覧いただけ、上越市の四季の写真他、掲載は多様です。お知らせページでは各地の話題やイベント情報、会員ひろばでは、たくさんの話題、また会員のみなさんからの寄稿文やホットな情報もご覧いただけます。

お知らせ、会員ひろばコーナーでは、上越に関する情報を発信できます。ぜひご活用ください。



ぜひとも、「ふるさと上越ネットワーク」を検索し、ご覧ください。スマートフォンでは、左のコードからご覧いただくことができます。



## 上越タイムス電子版、上越ケーブルビジョンへのアクセス方法（会員のみ）

### ◆ Jネット会員は、無料でご覧いただけます。

- ① HP右肩「Jネット会員メニュー」をクリック
- ② 「ログインはこちら」をクリックし各社のHPへ
- ③ 下記のメールアドレス・パスワードにてログインしてください。



## ◇ふるさと納税新規返礼品のご紹介

ふるさと納税の申込みが集中する12月に合わせて、新たな返礼品を追加いたしました。主な新規返礼品は以下のとおりです。詳しくは特設サイトをご覧ください。



うみてらす名立  
鮭の味噌漬け



越後薬草  
YASOジンソーダ



やまざきふあーむ  
新之助



まるたき工房  
干し芋

特設サイトは下記のコードよりご覧いただけます。左記の他にもすぐ使える返礼品を多くご用意してお待ちしています。よろしくお願いいたします。



TRY TREE  
深山霧幻(日本酒)



ラーメンハウスあおき  
冷凍上越ラーメン



花の米  
おこめ・切り餅セット



町田醤油味噌醸造場  
あまざけ



## 上越産品販売のお知らせ

- Jネットふるさと市場「取次販売商品一覧」※年末受注締切日12/22/年明受注開始日1/7

会員は送料無料で取り寄せができますので、どうぞご利用ください。

現行の各社パンフに加えて、取次販売商品一覧(A4版1枚)を同封にてお届けします。

- 上越特産市場 JCCソフト株式会社運営による、上越農林水産物・特産品のネットショッピングモールです。「上越特産市場」でネット検索いただき、お申込み下さい。

- 「雪国商店」東京交通会館店 お問合せ先 JCV 東京情報センター TEL: 03-5218-7730

<https://yukiguni.shop/> (有楽町駅から約3分)

場 所: 有楽町交通会館1階 営業時間: 11:00~19:00

休業日: 年末年始

- 「雪国商店」CoCoLo新潟店 休業日1/1 ※その他休館日

新潟県新潟市中央区花園一丁目1番1号

CoCoLo新潟2階 EAST SIDE 営業時間: 10:00~20:30

角打ち: 11:00~20:00 (Lo19:30)

- 「雪国商店」KITTE大阪店 休業日 1/1

大阪府大阪市北区梅田三丁目2番2号 KITTE大阪2階

営業時間: 11:00~20:00 角打ち: 11:00~19:00 (Lo19:00)

ソフトクリーム 11:00~20:00 (Lo20:00) ※機器洗浄日のみLo19:00

- 新潟・上越妙高「うまさ直送! 雪国マルシェ」【生産者のみなさまのお声を直接お聞きしてお買物ができます】

日 時: 1月24日(土)・25日(日) 2月28日(土)・3月1日(日)

会場・時間: 11:30~17:30 交通会館1Fピロティ

JネットのHPにて毎月の販売予定商品情報をトップページに掲載しています。





11月28日(金)、「上越出身」「上越に馴染みのある」「東京でビジネスをしている」をテーマに、つながりの輪を広げる交流会『上越語り BAR』を開催しました。この企画はJネット若手会員の上田さん、阿部さんが担当。二人の知人や友人など10名が参加し、Jネット役員とも懇親を深めました。

当日は、同郷人ならではの安心感や郷土愛が感じられるアットホームな雰囲気、笑顔あふれる会となりました。

## 谷浜海岸コーヒー通信

浅石まみ

井の中の蛙…といつも思ってた。迷える眠い学生時代…朝7:30にしか通学電車ないってなんて田舎なんだ!ある日、全国の平均起床6:30とNHKが言う。え?ほんと?そして上京し、都会で生きるには早起きが必要と知る。

小さな蛙も当たり前を肌で感じてUターンして谷浜。6時に起きる。今日も曇天。でも海の一目は空が広い。向こうに晴れ間も見える、太陽出る度に虹も出る、こんな日は大声ぶつけてスッキリしよ。一周回って、谷浜生活は、職住接近で景色はスペシャルを実感中。皆様ぜひ確かめに来てください〜

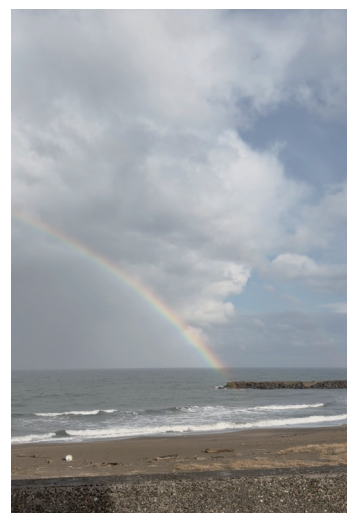
谷浜海岸コーヒー おやじのアトリエ【谷浜海岸コーヒー】

上越市長浜56-1 国道8号線沿い谷浜海水浴場側海の一目

谷浜駅徒歩8分駐車場有7-9台分+駐輪可 ウッドデッキあり

営業日 水木金土日11:30〜日没LO+金土日7:30〜9:30モーニング(12/28まで)

月火祝日営業時は変則休、冬休み1/13火〜2/10火



## ● Jネットからのお知らせとお願い

2026年版のカレンダーを今号に同封いたしました! (追加送付で希望の方へ、一部500円(送料込)でお届けいたします。事務局までご連絡ください。)

会員の皆様には、ご自分の思い出やご経験、上越の魅力、上越に役立ちそうなこと、会員の親睦を深めることなどなんでも結構ですので、記事(1,200字程度まで)と写真を送信いただければ幸いです。投句もお待ちしています。

さらに、たよりについて、記事や俳句の感想をお寄せ頂ければ、寄稿や投句された会員の励みになります。こちらもお待ちしています。(頂いた感想は、たよりに掲載いたします。)

Mail 送信先事務局: [k.miyazato@araip.co.jp](mailto:k.miyazato@araip.co.jp)



初冬の高田公園 撮影:丸山 茂さん

◎次号「たより」は令和8年1月25日の発行です。